のげ青緑日

ちょっと早いですが、のげ青で行う「緑日」のお知らせです。模擬店やゲームのブースがたくさん出る楽しいお祭りにしたいと考えています。これから少しずつ、いや、どんどんと準備を行っていきます。こんな遊びをやってみたい、あんなお店をやってみたい、とにかく緑日に関わりたいという人は、スタッフに声をかけてください！
緑日の実施予定日:9月8日(日)　11:00～15:00

登録方法が変わりました

年度が変わり、久しぶりに「のげ青」に行く！という人もいると思います。利用のためのカードも変わりました。そしてなんと、小学生から登録ができ、カードが作れるようになりました！作り方の詳細は受付で聞いてください。

インターン募集

若者の「やりたい」を応援し実現するために、若者に寄り添い、伴走をしてくれるインターンを募集しています。18歳から20代で若者支援に関心があり、定期的な活動ができる人の応募をお待ちしています！
応募方法:メールもしくは、のげ青の受付で直接申し込んでください。お問い合わせは、お電話でも結構です。

ホッとな食卓

自分たちで作りたいものを決め、作り方を調べて、一緒に作って食べるというクッキングプログラムです。みんなで作れば楽しい！みんなで食べればもっと美味しい♪ なので、参加する人が多ければ、それが嬉しい！ぜひ、参加を待っています!!
実施日時:毎週水曜日の17時頃から

運営団体が変わりました、よろしくお願いします！

　このたび新しく野毛青少年交流センターの運営団体となりました、公益財団法人児童育成協会の木谷佳紀と申します。4月よりセンター長として着任しました。児童育成協会は、元々渋谷にあった国立総合児童センター『こどもの城』を運営していた団体で、現在は都内および埼玉県にある児童館と、世田谷区では希望丘青少年交流センター「アップス」の運営をしています。
　のげ青が若者や地域の皆様にとって親しみの持てる交流の場となるよう、精一杯活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

センター長 木谷 佳紀

のげ青の人々。

蛯名 野亜さん
副センター長

Q1 一言メッセージをどうぞ
2019年4月からスタッフとして働いています。動物と工作と音楽が好き。ボケよりツッコミ派です。フリースペースにいたら気軽に声をかけてくださいね。

Q2 のげ青で呼ばれたい名前は？
「えびちゃん」

Q3 "どんな大人になりたい"と子どもの頃は思っていましたか？
「かっこいい大人」

のげ青庭部

春の収穫物がとれました！

　4月から5月にかけて、キャベツとほうれん草、甘夏みかん、人参、ネギ、カモミール、梅など地域の方から畑について教えて頂きながら収穫が出来ました。
　活動後に収穫した甘夏みかんでゼリーを作ったり、人参などを天ぷらにしたりしました。収穫したカモミールもお茶にして地域の方と楽しみました！参加者の方も美味しい料理に笑顔でした！また週に一回行われているホッとな食卓でも収穫した野菜が活躍しています！夏にかけてはナスとトマト、かぼちゃ、ゴーヤの収穫を予定しています。
　また、木村ぶどう園様から地域祭りで奉納するために頂いた稲をスタッフと利用者で植えました！無事に成長することを祈ります。収穫の時が楽しみです！

ピックアップ！ Nogestagram

餃子だけでお腹いっぱいに！という企画でご飯を炊かずに餃子のみ作りました。最初は200個包むという現実に恐怖していた面々ですが、順調に進み、美味しくいただきました!!

世田谷区立
野毛青少年交流センター
〒158-0092 東京都世田谷区野毛 2-15-19
☎ 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739
information@nogesei.com @nogesei_youth
https://www.facebook.com/nogesei0510

のげ青でのさまざまな活動はフェイスブックページにて公開しています！ぜひご覧ください！
のげ青 検索

のげ青の日常を地域へ伝える
のげ青通信
NO.18
2019年7月 発行

のげ青施設紹介 居場所スペース

のげ青にある子ども・若者たちの居場所スペース『フリースペースとホール』と『フューチャーハブ』の特徴をご紹介します！

本館 フリースペースとホール

　その名の通り、リビングのように自由に過ごせる空間です。おしゃべり、ゲーム、勉強など何でもやれる「フリー(自由)」な居場所。ここでは様々な年齢の子が一緒に過ごしています。
　集団で遊びに来ている中学生と、常連の青年が一緒に人狼ゲームをやって盛り上がったりします。その横では、ギターを弾いている青年の指を見ながら「うまいね」って言う小学生。隅のほうで、スタッフとお話をしている人。ひたすら、ただただお絵描きをしている人。それから奥のホールでは、卓球、バドミントン、ボール遊び等ができます。ジャグリングのお手玉とバドミントンの羽根が交差しながら飛び合い、お互いに譲り合っています。雨の日は待ち合わせ場所に使ったり。。。こんなリビングに来てみませんか？

緑がきれいで、明るい周りの雰囲気がリラックスできる。この環境が楽しい気分にさせてくれる。ゲームをしてすごしている。近隣に住んでいたが今まで知らなかった。良き居場所。

ショウタくん

別館 フューチャーハブ

　フューチャーハブとは、Future、未来、という英単語と、Hub、ネットワークの中心装置を意味する英単語を組み合わせて作られた言葉です。この場合の未来とは、社会であり、人であり、知識のことでもあります。それらと若者を繋げる中心となる場として、平成28年度に野毛青少年交流センター別館に設置されました。
靴を脱いで上がる畳スペースや、ゆっくりくつろげるハンモック、自由に移動しレイアウトの組み換えができるミーティングデスク、コーヒーを淹れて飲んだり、スタッフと話したり、一人で作業もできるカウンターテーブル等、様々な設備が設置されています。スタッフや利用者と話したい人や一人で作業したい人など、多様な人々が交流できる空間となっています。

カウンターでコーヒーを飲みながら、スタッフと聞いてもらいたいことをおしゃべりできる。初対面の利用者と一緒に話すことも楽しい。クッションのエリアで寝ることもでき、ゆったりできる。

ソウマくん

NOGESEI TOPIC 1

カレー皿に絵を描こう！ 青陶会との「絵付けTime」

　4月25日（木）と5月26日（日）の2回に分けて、青陶会の皆さんに作っていただいたカレー皿に絵付け（色つけ）をするプログラムを実施しました。青陶会は、のげ青の目の前にある作陶室で活動している、陶芸グループの皆さんです。のげ青で使えるカレー皿を20枚作ってくれて、その絵を若者が書くことになりました。
　当日はたくさんの青陶会の方に来ていただき、器についての説明や絵の具についての説明をしていただきました。今回使用したのは、日本古来の色である「呉須」と「弁柄」。呉須は焼きあがると鮮やかな藍色に、弁柄は温かみのある赤茶色になります。
　事前に素焼きしておいたお皿に色を塗っていきますが、まずは鉛筆で下書きを行いました。参加した若者は、「カレーが入ったときどんなふうに見えるか」「食べ終わったあとに、メッセージが現れたら楽しいんじゃないか」「名前は入れる？」など、悩みながら鉛筆を動かしていました。本焼きをすれば鉛筆の線は消えてしまうので、気にせず書いていきます。下書きが終わったらいよいよ絵付けです。素焼きしたお皿はぐんぐん絵具を吸うので、思ったように色は乗りません。試行錯誤を繰り返し、濃淡をつけていきました。職員も挑戦しましたが、なかなかこれが難しい。教えていただいたいろんな技法に挑戦する若者もいて、若者たちの吸収の速さに職員一同驚いたものでした。
　絵付けが終わった作品は、1200度を超える窯で本焼きをして完成させます。若者の力作がのげ青の食堂で皆さんをお待ちします。
　青陶会の皆さん、ありがとうございました。

NOGESEI TOPIC 2

アースオーブンイベント ～自家製窯でピザづくり～

　5月18日(土)に今年度初のアースオーブンイベントを実施しました。アースオーブンとは、のげ青の若者たちが地域の人と一緒に作った「窯」です。藁と土とレンガで作ってあります。アース（Earth）は、地球・大地・土という意味で、土に還る素材で作っているオーブンなのでそう名付けました。
　午前中は、大人数での生地作り。20代の若者から地域の大人までいろいろな人達が集まりました。ピザ生地を初めて作る人たちに、経験者の若者たちが優しくアドバイスしているのが印象的でした。
　午後は、窯でピザを焼きました。庭で育ったニンジンや冬に仕込んだのげ青味噌や、持ち寄った具材も仲間入りし、バラエティに富んだピザが完成しました。そのピザと一緒に飲んだカモミールティーは、畑でとれた自家製ハーブティー。ピザの美味しさをより一層引き立たせていました。
　まき割が得意な人、窯の状況を見るのが得意な人、生地を作るのが得意な人、トッピングの組み合わせを考えるのが得意な人、ピザの切り分けが得意な人、子どもたちのフォローが得意な人、お片付けが得意な人。様々な人の得意分野が合わさって、3キログラム用意したピザ生地はあっという間に無くなりました。若者を中心に30名近い人達が集い、自然の産物を生かして、世界に一つだけのピザを楽しみました。

ノゲセイトライアングル 活動報告

若者たちの「やってみたい！」を応援するノゲセイトライアングルでは、若者たちが定期的に集まり、企画立案や話し合いをしながら様々な活動を実施しています。ここでは近況報告としていくつかのプログラムをご紹介します。

スペシャルなランチプレートをつくりました

5月9日（木）にランチプレート作りを行いました。これがまた豪華で、枝豆ごはん、からあげにフライドポテト、季節のフルーツにほうれん草の胡麻和え。胡麻はきちんとすり鉢ですり、からあげは二度揚げに挑戦！（ちょっと油がはねました）。見た目にも鮮やかなランチプレートは、他の若者の心をがっちり掴み、みんなで楽しく食べました。今度は何を作ろうかな？

NASU文芸サークル

古典文学を嗜んでいる若者が発案した、NASU文芸サークル。今回は『枕草子』を読みました。清少納言が宮仕えしたての頃の場面を読み、それぞれが感じたことを話し合いました。「現代の日本で上司の兄からこんな扱い受けるなんて今じゃ考えられないよね」「こんな男の人絶対に嫌だ」なんていう意見も出てきたりして…。
学校では感じられなかった楽しさを体験できた時間でした。

小学生発案！ ゲーム大会

月一会議にて小学生たちが提案、企画をして第4回ゲーム大会を開催しました。今回は今までの大会を振り返るミーティングを企画メンバーたちで行い「みんなが楽しめるような会にする」という目標を立てて臨みました。当日は、決めたルールや目標を参加メンバーが共有することで和気あいあいと行うことができ、「楽しかった！」「またみんなでやりたいね」などの感想があり、大盛況でした。優勝者には、「アースオープン参加無料券」が贈呈されました。

ケンザブロウくん

小学生と大学生以上が参加してた。switchを持っていなくてもみんなで貸しあって楽しく遊んだ。ゲームは仲間と協力しあって勝つことができた。普段、一緒にゲームしない人と戦えたり、強い人と対戦できてよかった。一緒にゲームをやっていて、友達が増えて嬉しかった。